



みなとしみず

発行

国土交通省中部地方整備局
 清水港湾事務所
 御前崎港事務所/下田港事務所/田子の浦港分室
 静岡市清水区日の出町7番2号
 TEL. 0543-52-4146
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

清水港ぐるっと一周親子探検隊

既報のとおり、清水港では国土交通省港湾局が推進している、みなとを核とした地域の観光振興に取り組む「みなと観光交流促進プロジェクト」のモデル港(全国10港)のひとつとして、「みなとの体験学習による観光振興」をテーマに選定され、関係者からなる協議会を設立しました。



ミズウオの解剖実験

第1回・第2回協議会を経て、2月25日(土)に、小学5・6年生と保護者を対象とした体験学習イベント「清水港ぐるっと一周 親子探検隊」を開催。当日はモニターとして静岡市内の小学校の先生にも参加していただきました。

参加者からは、「プログラムが充実していて大変面白かった。」といった意見や、小学校の先生からは、「肌で感じる機会が出来て良かったのでは。」といった意見をいただき、良いイベント効果が得られたと思います。

また、第3回協議会を3月15日(水)に開催し体験学習イベントの結果もふまえて取りまとめを行いました。



帆船オーシャンプリンセス前で

■午前の部

港内の見学と各種体験や、屋内にて清水港の歴史、役割に関する教育プログラムを実施

開校式・オリエンテーション
港の歴史役割について学習(フェルケール博物館)
港内見学と体験学習(帆船オーシャンプリンセス号)



フェルケール博物館



湾内プランクトン採集

討論会



■午後の部

日本でも最深を誇る駿河湾や海岸の特徴を生かした体験プログラムを実施

海岸漂着物観察(三保海水浴場周辺)
および討論会(東海大学海洋科学博物館 会議室)
ミズウオ(深海魚)の解剖実験か、湾内プランクトンの採集と観察(東海大学海洋科学博物館)
アンケート(東海大学海洋科学博物館 会議室)
閉校式

開校式



閉校式



新『清龍丸』一般公開

新「清龍丸」は老朽化した旧「清龍丸」の代替船として2005年4月に完成した大型の「しゅんせつ兼油回収船」です。通常は名古屋港で航路（船の通る道）の浚渫（しゅんせつ）作業を行っていますが、大量油流出事故が起きた際には、「大型油回収船」として活躍する船です。旧清龍丸は1997年1月、日本海で発生したナホトカ号の油流出事故の時に活躍したことでも有名です。

このような「大型しゅんせつ兼油回収船」は全国に3隻（北九州、新潟、名古屋）配備され、「清龍丸」はこの地方唯一の「大型しゅんせつ兼油回収船」です。

「清龍丸」は毎年、日本各地の港を訪れ、港の状況把握と現地での油回収訓練を行っています。

清水港では3月25日（土）に、海上での油回収訓練を行い、3月26日（日）日の出ふ頭にて10:00～16:00まで、一般公開を行います。（見学無料、受付10:00～15:30）



一般公開会場

中国航路新規開設

平成18年1月12日（木）、清水港ではじめてとなる中国船社による中国航路が開設されました。これに続き、平成18年3月4日（土）には、新たな航路として台湾・中国定期コンテナ航路が開設されました。この新規開設航路を含め現在の清水港に寄港する定期コンテナ航路は23.5便/週となります。



帆船「海王丸」入港



入港

2004年10月、富山湾沖で台風により座礁した独立行政法人公開訓練所所有の練習船「海王丸」(2,879ト)が修復を終え、2月17日（金）に清水港に入港しました。

今回、船内一般公開は行われませんが、21日（火）に横浜港へ出港していく姿は「海の貴婦人」と評されるものに値する優美な姿でした。



出港

豪華客船「飛鳥II」初入港

3月2日（木）9:00頃、客船「飛鳥II」(50,142ト)が清水港に初入港しました。世界的に高い評価を受けていた「クリスタル・ハーモニー」を改装し、全長241m（東京都庁舎〈243m〉とほぼ同じ）で、大きさは「飛鳥」の約1.7倍になりました。今後、2006年の春からクルーズを開始することとなっています。



藻場の造成をしています

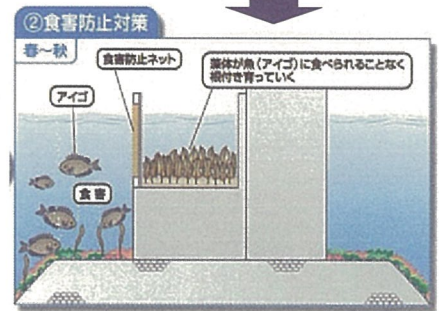
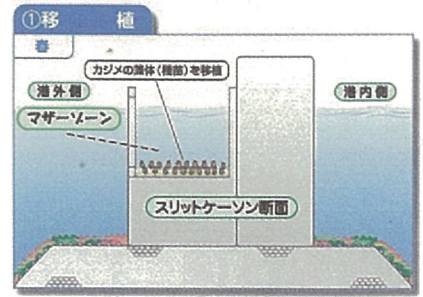
清水港湾事務所では、国土交通省港湾局が推進している「環境と共生する港湾づくり(エコポート)」のもと、御前崎港防波堤(西)の整備に際しては防波堤(スリット式ケーソン)を活用した藻場の造成に取り組んできました。

スリット式ケーソンの遊水部がもつ「内部に光が差し込む」、「海水交換が良好」といった特徴に着目し、遊水部を遊走子(植物の種のようなもの。)の供給源「マザーゾーン」として活用する藻場造成手法を有識者の意見を聞きながら検討してきました。

平成17年度は、平成17年8月3日(水)と平成18年3月8日(水)の計2回検討会を実施しました。検討会ではスリット式ケーソンの遊水部が遊走子の供給源として機能することが確認されました。



スリット式ケーソン内の様子



平成17年度は調査最終年度となっており、これまでの調査結果のとりまとめを行っています。

ベェズの歴史探訪



御前崎・「猫塚」

沖に流されそうになった子猫を寺の住職が救い、猫はそれを恩義に感じ成長しました。ある日旅僧が訪ねてきて滞在したが、それは住職を食い殺し寺を乗っ取ろうとした古ねずみの化身でした。それに気づいた猫は隣に住んでいた猫と一緒に命に替えてねずみを退治したそうです。

この猫塚は御前崎上岬にあります。



たけがはまなみよけあと

下田・武ガ浜浪除け跡

下田は重要な港であるが、大波が西岸を砕き浜辺に寄せて民家を脅かすので、船の碇泊にも安全ではない。そこで下田奉行 今村伝四郎が救済のため、浪除け(防波堤)を築きました。住民は飢餓や洪水のため困窮していたので一切費用を負担せず、今村は自らの私財を投げ出して工事を進めました。寛永二十年起工、三年後正保二年(1645年)竣工しました。浪除けの完成で町並みは安全になり、長い年月の間に外側に土砂が堆積し、武ガ浜の土地ができていきました。



みなとづくり見学会

“みなとづくり見学会”とは、地域コミュニケーション（広報広聴）活動の一環として、港に関する講座や港内を見学してもらい、地域の皆さんに広く『みなと』の果たす役割を理解してもらうために行っているものです。

実施日	団体名
1月26日	静岡市立籠上中学校
2月28日	静岡市立大里西小学校
清水港湾事務所	



見学会の様子

事務所管内の主な動き

1/25	御前崎港セミナー	3/14	第2回 清水港興津地区人工海浜・緑地基本計画検討委員会
2/2	第2回 静岡県港湾物流促進戦略策定調査委員会	3/15	第3回 体験学習による清水港観光交流促進協議会
2/6	第2回 大井川町地方港湾審議会	3/16	静岡県地方港湾審議会
2/16	西部地区貿易懇談会 清水港セミナー	3/23	第3回 静岡県港湾物流促進戦略策定調査委員会
3/8	第2回 御前崎港藻場造成検討会	3/26	清龍丸一般公開

Bay'sホールへ行こう！



清水港湾事務所1階にあるBay'sホールでは、事業の概要や地震・防災に関するビデオ、クイズに答えて駿河湾、日本一周、世界一周が楽しめるゲームなどが設置されていて、遊びながら“みなと”のことが勉強できます。どなたでもご自由に来館していただけるので、ぜひ一度お立ち寄り下さい。

開館時間 月～金 8:30～17:00 (土、日、祝祭日を除く)



ペエズの1口メモ



地震が起きると電信柱が倒れ、電線がぶら下がっていたりします。家の電気は切れていても、電線にはまだ電気が通っていることがあるので触ると感電し、とても危険です。電線には絶対に近づかないで下さい。

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おーい よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間：9時～12時、13時～17時(土・日、祝祭日は除く)

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください